

外来種被害防止行動計画（仮称）作成の目的

外来種被害防止行動計画(仮称)(以下「行動計画」という)は、愛知
目標を踏まえた2020年までの特定外来生物も含めた外来種全般に関
する中期的な総合戦略として、我が国の生物多様性の保全等を推進
するための外来種対策の指針となるものである。

行動計画においては、国・地方自治体・民間団体等の役割と外来種
対策における優先度の考え方、非意図的に導入された外来種や国内
由来の外来種を含めた外来種対策の基本的な考え方等を整理した
上で、侵略的外来種リストの作成、保護地域における外来種対策、
水際におけるモニタリング、予防・早期防除等の対策、普及啓発の
推進等の施策の実施方針を明らかにしていくことにより、

外来種の取扱に関する国民全体の認識の向上と各主体による適切
な行動の促進

優先度を踏まえた効果的・効率的な防除の推進

多様な主体の参加による役割分担と連携のもとでの、広域的な防除
の推進

非意図的に導入された外来種や国内由来の外来種の対策の推進

等、より一層の取組が必要な対策の実施に資するものとする。